アサボンタイル化粧キャップ工法施工手順

補修範囲の確認　　　　　◇浮きの状況を確認し、補修範囲を決定する。

　　　↓

マ ー キ ン グ　　　　　◇アンカーピンの本数と位置を決定し、タイル中心部にマーキ

　　　↓　　　　　　　　　ングする。

　　　　　　　　　　　　　・浮き部分に対するアンカーピン本数は、特記による。

アンカーピン　　　　　　◇アンカーピン固定部の穿孔を行う。

固定穿孔　　　　　　　　　・無振動ドリルで穿孔する。

　　　↓　　　　　　　　　・φ6.5mmのコンクリート用ドリルビットを用い、壁面に対

　　　　　　　　　　　　　　し直角に穿孔する。

　　　　　　　　　　　　　・穿孔は、マーキングに従って行い、55mmの深さに達する

　　　　　　　　　　　　　　迄行う。（仕上げ厚さ25mm以内の場合）

化粧ｷｬｯﾌﾟ座掘 　　　　　◇化粧キャップ固定部の座掘を行う。

　　　↓　　　　　　　　　・無振動ドリルでアンカーピン固定孔上に座掘する。

　　　　　　　　　　　　　・φ9mmの座掘用ドリルビットを用い、壁面に対し直角に穿孔

　　　　　　　　　　　　　　する。

　　　　　　　　　　　　　・座掘は2mmの深さに達する迄行う。

孔 内 の 清 掃　　　　　◇穿孔後は、圧さく空気等で切粉等を除去する。

　　　↓　　　　　　　　　・孔内をブラシ等で清掃後に行う。

孔 内 の 確 認 　　　　 ◇穿孔内の乾燥状態を確認し、湿潤状態の時は、監督員と協議

　　　↓　　　　　　　　　 を行う。

ピ ン ニ ン グ　　　　　◇注入口付アンカーピンを挿入し、たたき込む。

　　　↓　　　　　　　　　・専用打込み棒を用いプラグを所定の位置までたたき込む。

計　量・混練り　　　　　◇アンカーピン固定用エポキシ樹脂を製造所の仕様により、均

　　　↓　　　　　　　　　一になるまで混練りする。

　　　　　　　　　　　　　・主剤と硬化剤を正確に計量する。

　　　　　　　　　　　　　・アンカーピン固定用エポキシ樹脂はJIS A 6024硬質形、高

　　　　　　　　　　　　　　粘度形適合品とする。

注　　　　　入　　　　　◇アンカーピン固定用エポキシ樹脂を徐々に充填する。

　　　↓　　　　　　　　　・注入は注入用ポンプを用い、専用ノズルにて徐々に充填す

　　　　　　　　　　　　　　る。

　　　　　　　　　　　　　・充填量は、特記による。

　　　　　　　　　　　　　・特記がなければ挿入孔1箇所当たり25ccとする。

化粧ｷｬｯﾌﾟ挿入 　　　　　◇注入孔に化粧キャップをはめ込んで仕上げる。

　　　↓　　　　　　　　　・アンカーピン固定用エポキシ樹脂が硬化しなういちにはめ

　　　　　　　　　　　　　　込む。

養　　　　　生　　　　　◇アンカーピン固定用エポキシ樹脂が硬化するまで適切な養生

　　　↓　　　　　　　　　を行う。

　　　　　　　　　　　　　・衝撃を与えないようにし、降雨等からも適切な養生を行う。

　　　　　　　　　　　　　・夏期では15時間程度、冬期では24時間程度養生を行う。

清　　　　　掃　　　　　◇注入部以外に付着した材料を、適切な方法で除去し清掃する

２）アサボンタイル化粧キャップ工法使用材料

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 材種 | 材質・その他 | 製品名 | 備考 |
| 注入材 | アンカーピン固定用エポキシ樹脂  JIS A 6024 硬質形高粘度形 | アサヒボンド５７６ | 6kg/ｾｯﾄ |
| 化粧キャップ | 真鍮・プラスチック製 | ｱｻﾎﾞﾝﾀｲﾙ化粧キャップ | 100個～ |
| アンカーピン | ＳＵＳ３０４ | スーパースクイズピン | 100本/箱 |